

【編集後記】「新型コロナ「第3波」」

新型コロナウイルスの感染者数は11月以降急増し、第1波（4月頃）、第2波（8月頃）に続く第3波が襲来している。第3波の特徴はクラスター（感染集団）の多様化で、繁華街に加え、職場や大学、外国人コミュニティなどで広がっているという。

こうしたコロナ禍でも、日程や会場を分散したりネットを活用したりして、3密を避け工夫をしながら防火・防災の取組みを進めておられる幼少年消防クラブや女性防火クラブ、自主防災組織等には、本当に頭の下がる思いである。

政府の感染症対策分科会の提言では、感染リスクが高まる5つの場面として「飲食を伴う懇親会等」、「大人数や長時間におよぶ飲食」、「マスクなしでの会話」、「狭い空間での共同生活」などがあげられている。こうした場面を避け、引き続き一人一人がマスクの着用、手洗いや手指の消毒、3密回避の徹底など感染防止に努めることが求められている。

今年も残すところあとわずかですが、新しい年を迎えるが、一日も早くコロナ禍が収まり平穏な日常が戻ることを願っている。

地域防災に関する総合情報誌 **地域防災** 2020年12月号（通巻35号）

■発行日 令和2年12月15日

■発行所 一般財団法人日本防火・防災協会

■編集発行人 西藤 公司

〒105-0021 東京都港区東新橋1-1-19（ヤクルトビル内）

TEL 03 (6280) 6904 FAX 03 (6205) 7851

URL <https://www.n-bouka.or.jp>

■編集協力 近代消防社